

令和 6 年 5 月 26 日現在

機関番号：13901

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）

研究期間：2018～2023

課題番号：18KK0062

研究課題名（和文）アフリカの産業人材の技能評価モジュールの確立とカリキュラム分析

研究課題名（英文）Skills assessment of industrial human resources and TVET curriculum evaluation in Africa

研究代表者

山田 肖子（Yamada, Shoko）

名古屋大学・国際開発研究科・教授

研究者番号：90377143

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,800,000円

研究成果の概要（和文）：複数の製造業種への展開に向け、技能評価のモジュールの原型の発展版を作成した。コロナ禍の渡航制限中には、非接触的に技能評価を実現するため、オンラインシステムを開発した。令和3年には、「途上国の産業人材育成 - SDGs時代の知識と技能」（日本評論社）という書籍を刊行した。また、令和4年には国際誌International Journal of Educational Developmentで特集を組んだほか、英文書籍の刊行に向けて準備を進めている。このように、本事業は、製造業の生産現場の労働者、雇用者に対するフィードバック、政府や業界団体に対する政策提言を行う一方で、精力的に学術発信もした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、実務と研究の二面において貢献を目指してきた。実務面では、急速な経済発展のための人材育成を目指しつつ、実際の人材の能力についての確かな情報を得られない途上国において、就労している若者について、より正確で具体的な能力情報を提供し、政策形成に貢献してきた。また、研究面では、学校教育の就学年数やカリキュラムで教えられた内容の習熟度以外に人的資本の質を評価する効果的な方法論が見いだされていない中、技能評価モジュールとその分析方法を開発しつつ、それをを用いて得られた実証データによって、その意義を示すことである。この両面において、本研究は、十分な貢献を果たしたと考えている。

研究成果の概要（英文）：The skills assessment module, which was originally developed for garment industry, was adapted to other manufacturing sectors. During the pandemic, when the overseas travel contacts with participants. In 2021, the team published a book entitled "Industrial Human Resource Development in Developing Countries: Knowledge and Skills in the Age of SDGs" (Nippon Hyoronsha). In 2022, the team leader has edited a special issue titled "skills for development revisited" in the International Journal of Educational Development, and preparations are underway for the publication of an English-language volume based on the findings from this research. In addition to these academic contributions, the project made and impacts both for practitioners. It provided feedback to workers and employers in the manufacturing industry and policy recommendations to the government and industry associations.

研究分野：教育社会学

キーワード：産業人材 教育評価 アフリカ研究 技能評価 非認知能力

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

### 途上国における産業人材育成への関心と「学力観」の変化

日本がかつてそうであったように、経済発展を目指す途上国政府が TVET を重視した政策を掲げることは珍しくない。特に、アフリカでは、2000 年代半ば頃から、資源輸出の好調を受けて急激に経済が成長した国々が少なくなく、産業人材育成への関心が高まっている。一方、これらの途上国では、1990 年に「万人のための教育」国際目標が合意されて以来、基礎(初等+前期中等)教育の普遍化を目指してきた。しかし、この急速な就学拡大が、安定的な雇用を通じた貧富の格差解消につながるという想定はほとんどの場合は裏切られ、2010 年頃から、どういう場で学んだか、ということより、**知識が役に立っているのか、学校で教えられる内容が、仕事や生活の場で求められる能力につながっているのか**、が議論されるようになった。

このことは、日本をはじめとする先進諸国で、21 世紀型スキルや問題解決型の能力の重要性が指摘されるようになったこととも呼応している。学力観が変化するに伴い、それを学ぶプロセスにも、自ら考え、情報を処理する能力を養うアクティブ・ラーニングの必要性が指摘されている。しかし、それを従来のカリキュラムの枠組みの中で実現する能力が学校や教員にあるのか、あるいは、従来のテストによって、こうした能力を適正に評価することができるのか、といった課題は、日本の教育者、教育学者にとっても大きな課題であろう。

国際社会では、2015 年に「持続可能な開発」国際目標(SDGs)が合意され、その 4 番目の目標である SDG4 は教育に関する 7 つのターゲットから成る目標になっている。近年の学力観の変化を背景に、SDG4 においても、学習者の知識や能力を様々な側面から評価しようとする姿勢が示されるようになった。しかし、こうした**新しい学力観に基づいた評価の方法は、やっと模索の端緒についたばかり**である。特に、TVET は、途上国におけるニーズと関心が極めて高いにも関わらず、本当の意味で産業界で求められている能力を把握するための方法論がないまま、予算や政策的な重点だけが高まっている場合が少なくない。また、この分野は、教育、労働・雇用、産業、貧困などの様々な分野に関わることから、行政や学問分野の縦割りの仕組みの中で、どの省庁、学界でも中心課題として取り上げられにくいことも困難な点である。

## 2. 研究の目的

本申請研究は、申請者が代表者となって平成 27 年度から実施してきた基盤研究 B (及び他の助成金)による研究の成果に基づいている。本研究では、アフリカにおいて、中学校から職業技術教育・訓練(Technical and Vocational Education and Training: TVET)程度の教育歴を有する若手労働者の技能を評価するモジュールを開発している。このモジュールは、教育・訓練の内容と労働者の実際の能力、更には産業界が労働者に期待する能力を対比することを可能にし、それに基づいて、カリキュラムや産業人材育成政策の改革に貢献することを目指している。既に、エチオピアにおいて、小規模サンプルで、質問票・筆記テスト・実技テストによる技能評価を実施したほか、評価モジュールの信頼性を高めるため、日本国内の学校の協力も得て試行を重ねてきた。

こうした準備に基づき、平成 30 年に開始した本研究では、エチオピア、南アフリカ、ガーナの 3 か国で、縫製業の労働者と雇用者、TVET 教員を対象に大規模データ収集と分析、それに基づく政策提言を行ってきた。また、対象 3 か国で評価モジュールの有効性を確認したうえで、研究期間中に、他国及び他産業にも適応することを目指した。

## 3. 研究の方法

本申請に先立つ基盤 B の研究において、既に表 1 に示した(A)調査対象国の政策、セクター状況、カリキュラム分析、及び(B)評価モジュールの第一段階での試行は終わっていた。事例 3 か国で大規模データ収集のためのカウンターパート諸機関との調整は既にできていたので、本研究の最初の 2 年間(平成 30 年度、31 年度)は、南アフリカ、エチオピア、ガーナの 3 か国の縫製業に焦点を当て、(C)質問票(雇用者、訓練者、労働者用)と労働者の技能測定からなる技能評価を実施した。技能評価モジュールは、図 1 に示したように、訓練者、雇用者、及び労働者に対

する質問票((1)、(2)、(4))と、実際に労働者に作業をやってもらって、教育訓練者と雇用者からなる評価者によって採点するという技能測定(3)からなる。このモジュールは、質問を共通化する、同じ労働者の技能を雇用側と教育訓練側が同時に評価する、などの方法により、一連のデータとして分析可能にしてあり、政府のカリキュラムや技能標準を対比して、カリキュラム改訂のための提言を行うことができる。同時に、技能労働者の需要

- 供給間 ((1) と (2))、市場の期待と労働者の実際の能力 ((1) 及び (2) と (3))、労働者の実際の能力と自己評価 ((3)と(4)を、それぞれ、技能を構成する認知的、非認知的能力、職業技術

**表1: 活動内容別スケジュール**

活動内容	H29まで	H30	H31	R2	R3	R4
A 政策・カリキュラム分析						
B 評価モジュールの試行						
C 技能評価の実施						
D TVET卒業生の追跡調査						
E 評価モジュールの信頼性検定						
F 他国・産業への展開						
G 研究成果発信(論文発表+政策提言)						

の分野において対比可能である。

(C)質問票・技能評価のデータが揃ったら順次、分析をして、論文発表と調査参加国の政府、業界団体、企業、労働者、TVET 校の教師及び生徒に対してフィードバックを行った。同時に、定性的な人類学的調査を得意とする研究メンバーを中心に(D)TVET 卒業生の追跡調査を行い、技能評価モジュールでは捕捉しきれない卒業生への聞き取りと彼らの職場での参与観察を行った。

これらの作業を行いつつ、3~4 年目の令和 2~4 年度には、3 か国でのデータに基づき、再度(E)技能評価モジュールの信頼性検定を行い、他産業、他国に应用可能なモジュールにするよう、調整を行った。同時に、縫製業での 3 か国データによって、同一基準による技能の国際比較が可能となったことから、下記のように、学術的発信も積極的に行った。

#### 4 . 研究成果

技能評価の結果に基づき、平成 31 / 令和 1 年度は、参加企業や労働者へのフィードバック、カントリーレポートや学術論文の執筆を行った。また、縫製業労働者の技能だけでなく、他産業にも適応できるよう、機械工の技能評価のモジュールを作成した。令和 2 年度は、コロナ禍により、現地での事業が行えなかったが、その間、事例 3 か国以外や、大勢の労働者を 1 か所に集めずになるべく非接触的に技能評価が行えるよう、オンラインやタブレットで実施できるシステム開発を行った。令和 3 年 2 月には、この研究メンバーが中心になって、「途上国の産業人材育成 - SDGs 時代の知識と技能」(日本評論社)という書籍を刊行した。更に、令和 3~4 年度は、事例 3 か国での成果をもとに、依頼を受けてパキスタンで技能評価も行うなど、本研究の成果が事例国以外でも評価され、招請されることとなった。同時に、縫製業での 3 か国データによって、同一基準による技能の国際比較が可能となったことから、本研究の成果として令和 4 年には国際誌 International Journal of Educational Development で特集を組んだほか、英文書籍の刊行に向けて準備を進めている。このように、本事業は、製造業の生産現場の労働者、雇用者に対してフィードバックを行い、政府や業界団体に対してカントリーレポートを発行して政策提言を行うといった実務的貢献をする一方で、精力的に学術発信もしており、当初の目的を十分に果たしたと言えよう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計28件（うち査読付論文 19件／うち国際共著 6件／うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Yamada, Shoko	4. 巻 7
2. 論文標題 Knowledge with Sharing and Empathy: Lessons for the IT-Driven Modern World from Views on Knowledge in Africa Oral Culture	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Yearbook of the Philosophy of Education Society of Japan	6. 最初と最後の頁 44939
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山田肖子	4. 巻 125
2. 論文標題 発信と共感を伴う知識 アフリカ伝統社会での知識観から情報駆動社会への照射	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教育哲学研究	6. 最初と最後の頁 39-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada, Shoko and Christian Otchia	4. 巻 26-1
2. 論文標題 Differential Effects of Schooling and Cognitive and Noncognitive Skills on Labor Market Outcomes: The Case of the Garment Industry in Ethiopia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Education and Training	6. 最初と最後の頁 145-162
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/ijtd.12252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Oasis Kodila-Tedika and Christian Otchia	4. 巻 26-4
2. 論文標題 The effects of free primary education in the Democratic Republic of Congo: A difference-in-differences approach	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of Development Economics	6. 最初と最後の頁 2109-21201
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/rode.12922	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shoko Yamada, Christian S. Otchia	4. 巻 26
2. 論文標題 Differential Effects of Schooling and Cognitive and Noncognitive Skills on Labor Market Outcomes: The Case of the Garment Industry in Ethiopia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Training and Development	6. 最初と最後の頁 145-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijtd.12252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山田肖子	4. 巻 9月号
2. 論文標題 持続可能性の教育 - 現代の知識形成における道徳性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 110-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田肖子	4. 巻 8月号
2. 論文標題 発信と共感を伴う知識 - アフリカ伝統社会での知識論から情報駆動社会への照射	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教職研修	6. 最初と最後の頁 108-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Christian S. Otchia; Bangkit A Wiryawan	4. 巻 11
2. 論文標題 The legacy of the reformasi: the role of local government spending on industrial development in a decentralized Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Economic Structures	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40008-022-00262-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 オチア, S. クリスチャン	4. 巻 100
2. 論文標題 アフリカにおける特区政策と産業政策の今後	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 53-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OTCHIA Christian samen	4. 巻 Vol.2 (2022)
2. 論文標題 Mobile Money and Structural Transformation : Evidence from Tanzania	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers Series	6. 最初と最後の頁 165-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51062/ascwp.2.0_165	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 谷口京子	4. 巻 2
2. 論文標題 新型コロナウイルス状況下の子どもの家庭学習における保護者への影響に関する国際比較調査2020年度の 結果報告	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 広島大学大学院人間社会科学研究科紀要. 教育学研究	6. 最初と最後の頁 260-267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimpuku, Y., Kaneko, M., Nishi, M., Aoyama, T., Taniguchi, K., Mwilike, B., & Kaba, M.	4. 巻 99
2. 論文標題 A Medical-Local Knowledge on Research Network	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of African Studies	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 章原恭子, 塩谷由美子, 島田めぐみ, 奥山貴之, 野口裕之	4. 巻 6
2. 論文標題 高度外国人材に求められるオンライン業務スキルに関する実態調査-CEVR-CV 2018 に基づき開発した Can-do statements を用いて-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 琉球大学国際教育センター紀要	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野口裕之, 大隅敦子, 熊谷龍一, 島田めぐみ	4. 巻 17
2. 論文標題 CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) の日本語教育への適用可能性に関する基礎研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本テスト学会誌	6. 最初と最後の頁 9-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24690/jart.17.1_9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤菜月	4. 巻 100
2. 論文標題 PNDC統治下ガーナの北部農村部における住民主体の地域づくり 誰がどのように率いたのか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 99- 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoko Yamada and Christian Otchia	4. 巻 11
2. 論文標題 Perception gaps on employable skills between technical and vocational education and training (TVET) teachers and students: the case of the garment sector in Ethiopia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Higher Education, Skills, and Work-Based Learning	6. 最初と最後の頁 199-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/heswbl-08-2019-0105	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田肖子	4. 巻 61
2. 論文標題 書評「江田英里香著『カンボジアの学校運営における住民参加』」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 比較教育学研究	6. 最初と最後の頁 208-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊集院郁子・李在鎬・小森和子・野口裕之	4. 巻 23
2. 論文標題 評価コメントに見られる意見文評価の様相 共起ネットワーク及びコレスポネンス分析に基づく考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 第二言語としての日本語の習得研究	6. 最初と最後の頁 26-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Otchia Christian S., Yamada Shoko	4. 巻 32
2. 論文標題 Reconciling heterogeneous results on the returns to skills in Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Education and Work	6. 最初と最後の頁 484 ~ 499
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13639080.2019.1662382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Otchia Christian S., Yamada S.	4. 巻 Preprint
2. 論文標題 Interactions between vocational and attitudinal skills in labour market outcomes: findings from the skills' assessment of garment factory workers in Ethiopia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Vocational Education & Training	6. 最初と最後の頁 1 ~ 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13636820.2019.1652675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 近藤菜月	4. 巻 10
2. 論文標題 カーナにおける大学教育改革の試み University of Development Studiesを事例として(研究ノート)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフリカ教育研究	6. 最初と最後の頁 93-107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoko Yamada, Christian Otchia, and Kyoko Taniguchi	4. 巻 21
2. 論文標題 Explaining differing perceptions of employees' skill needs: the case of garment workers in Ethiopia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Training and Development	6. 最初と最後の頁 51-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田肖子, クリスチャン S. オチア	4. 巻 27
2. 論文標題 非認知的能力が職能に及ぼす影響 - エチオピア縫製業労働者に見るカイゼン教育の効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 オチア クリスチャン	4. 巻 23 (1)
2. 論文標題 Domestic agricultural value chain development and pro-poor growth: A computable general equilibrium microsimulation application for the Democratic Republic of Congo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of Development Economics	6. 最初と最後の頁 475-500
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大塚雄作, 柴山直, 植阪友理, 遠藤利彦, 野口裕之	4. 巻 57
2. 論文標題 学力の評価と測定をめぐる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育心理学年報	6. 最初と最後の頁 209-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤菜月	4. 巻 18
2. 論文標題 学習者中心主義的視点から考察する職業技術教育	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第29回全国大会論文集(国際開発学会)	6. 最初と最後の頁 141-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤菜月	4. 巻 3
2. 論文標題 (研究ノート) ライフストーリーにおける「個性」についての考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 語りの地平	6. 最初と最後の頁 116-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤菜月	4. 巻 48
2. 論文標題 途上国の社会運動を行為者の視点から捉える理論・分析枠組み - ライフストーリーによる行為の意味への接近 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際開発研究フォーラム	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計72件（うち招待講演 26件 / うち国際学会 27件）

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 SDGs時代に求められる新しいスキル（知識基盤社会での問題解決スキル）
3. 学会等名 開発分野における教育セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 ポストコロナにおける学びの変容
3. 学会等名 EDU-Portシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Otchia, Christian
2. 発表標題 The Impact of Special Economic Zones on Structural Change
3. 学会等名 The Japan Society for International Development（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Otchia, Christian
2. 発表標題 Industrializing Africa: Opportunities and Challenges
3. 学会等名 Smart Economic Planning and Industrial Policy（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Otchia, Christian
2. 発表標題 New Evidence on Special Economic Zones and Structural Change
3. 学会等名 Second Young Scholars Conference on Structural Change and Industrial Policy in Africa? (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Otchia, Christian
2. 発表標題 Electric battery manufacturing: A game changer for the Democratic Republic of Congo
3. 学会等名 25th Annual Conference on Global Economic Analysis (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木 寛, 北村友人, 山田肖子
2. 発表標題 EDU-Portシンポジウム 「新しい日常」における水平的で双方向の学び
3. 学会等名 EDU-Portシンポジウム 「新しい日常」における水平的で双方向の学び(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Opportunities and challenges of skills development; why do we need evidence-based decisions?
3. 学会等名 Webinar on Industrial Skill Development in Developing Countries: Education, Skills Demands, and Productivity (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Ensuring equity and responsiveness of industrial skills development
3. 学会等名 Science Forum South Africa 2021 “ Igniting conversations for World Science Forum 2022 ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 発信と共感を伴う知識 - アフリカ伝統社会での知識論から情報駆動社会 課題研究(理事会企画)「 「データ駆動型社会」における教育哲学の課題 これからの教育にとって「データ」情報知識はどのような意味をもつのか 」への照射
3. 学会等名 教育哲学会第64回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 持続可能性と教育の接続 - “ 持続可能性 ” 概念の変遷が示唆するもの 課題研究 “ 持続可能性 ” の知識社会学と越境的思考
3. 学会等名 日本教育社会学会第73回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Industrial skills development - challenges and opportunities in developing countries
3. 学会等名 United Nations International Development Organization Webinar "Joining forces for industrial skills development" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋基樹, 辻本温史, クリスチャン・S・オチア, 大野泉, 神公明, 島田剛, 山田肖子
2. 発表標題 途上国の産業人材、生産性、カイゼン 『途上国の産業人材育成 - SDGs時代の知識と技能』出版記念企画
3. 学会等名 国際開発学会第22回春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 途上国の産業人材育成 - SDGs時代の知識と技能
3. 学会等名 第三世界の教育研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 "The nation-wide reform of the university entrance exam toward assessing the PISA-type skills under COVID in Japan" presented in the organized session "PISA's Obsession. Education Reforms in Germany, Japan, Mexico, and Turkey" with Carlos Ornelas, Aaron Benavot, and Batuhan Aydagul
3. 学会等名 Comparative and International Education Society 65th annual meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 書籍紹介 『途上国の産業人材育成 SDGs時代の知識と技能』
3. 学会等名 『途上国の産業人材育成 SDGs時代の知識と技能』刊行記念セミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口京子
2. 発表標題 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下における保護者の子どもへの家庭学習支援 国際比較調査の結果から
3. 学会等名 国際開発学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kyoko Taniguchi
2. 発表標題 Parental engagement in children's home-schooling during COVID-19 pandemic: Evidence from 19 countries
3. 学会等名 Comparative and International Education Society of Asia (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口京子
2. 発表標題 マラウイの小学校におけるライフスキル教育 - 学力とその要因 -
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kyoko Taniguchi
2. 発表標題 Who and in which schools' children can be promoted to the next grade in Malawi? From longitudinal data
3. 学会等名 Comparative and International Education Society Annual Conference 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kyoko Taniguchi
2. 発表標題 Who and in which schools' children can be promoted to the next grade in Malawi? From longitudinal data
3. 学会等名 Comparative and International Education Society Annual Conference 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊集院郁子 , 李在鎬 , 小森和子 , 高野愛子 , 野口裕之
2. 発表標題 作文評価のための教師用ルーブリックの作成と試用
3. 学会等名 日本語教育学会2021年度秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安永和央 , 野口裕之
2. 発表標題 国語試験問題の字数制限が評定者間における評価の一致度に及ぼす影響
3. 学会等名 第19回日本テスト学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasunaga, K , Noguchi, H
2. 発表標題 The effect of answer column formats for descriptive items in Japanese language reading test.
3. 学会等名 The 32nd International Congress of Psychology (ICP 2020+) (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 葦原 恭子 , 塩谷由美子 , 島田めぐみ , 野口 裕之
2. 発表標題 高度外国人材に求められるオンライン業務スキルに関する実態調査 CEFR 2018に基づき開発したCan-do statementsを用いて
3. 学会等名 日本語教育学会2021年度秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Natsuki Kondo
2. 発表標題 What Can We Learn from the Multi-Dimensional Data? Comparative analysis of the formal and informal garment sector workers in Ghana
3. 学会等名 Webinar on Industrial Skill Development in Developing Countries: Education, Skills Demands, and Productivity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Natsuki Kondo
2. 発表標題 The result of SKY assessment in Ghana What can see from the data? -Comparison between informal & formal sector workers in garment industry-
3. 学会等名 Science Forum South Africa 2021 “ Igniting conversations for World Science Forum 2022 ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤菜月
2. 発表標題 <新しい能力>論への問い アフリカでの調査から見えてくるもの
3. 学会等名 国際開発学会第22回春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Otchia Christian Samen
2. 発表標題 Agricultural growth and investment options for poverty reduction in Burkina Faso
3. 学会等名 6th International Conference on Economic Structures 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Otchia Christian Samen
2. 発表標題 What Can We Learn from the Multi- Dimensional and Multi-Stakeholders Data? Insights from Ethiopia
3. 学会等名 Webinar on Industrial Skill Development in Developing Countries: Education, Skills Demands, and Productivity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Otchia Christian Samen
2. 発表標題 Post-election violence and the spread of Ebola in the Democratic Republic of Congo
3. 学会等名 The Allied Social Sciences Associations (ASSA) Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 OTCHIA Christian Samen
2. 発表標題 Economic development and industrialization in Africa and developing Asia
3. 学会等名 Smart Economic Planning and Industrial Policy Conference SEPIP 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 オチア クリスチャン サメン
2. 発表標題 コンゴ民主共和国における新型コロナウイルスの空間的拡散
3. 学会等名 コロナ禍におけるアフリカの人々：6カ国からの報告（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 OTCHIA Christian Samen
2. 発表標題 Human Resource Development and Career Ladder: The case of Ethiopian Industrial Parks
3. 学会等名 JASID Spring Conference（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 How education and skills matter for work? Findings from the skills assessment in Ethiopia and Ghana
3. 学会等名 広島大学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田肖子（企画者・司会）
2. 発表標題 国際開発学2.0 国際開発学のニューノーマルを拓く
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 「産業界との連携」の本質は何か - アフリカでの労働者の技能評価調査を事例に -
3. 学会等名 TVETにおける産業連携に関する検討会（国際協力機構）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Adaptive skills development for boosting economic growth: the experience of post-WWII Japan
3. 学会等名 United Nations Economic Commission for Africa（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田肖子、島津侑希、辻本温史
2. 発表標題 JICAの産業人材育成、官民連携による民間の産業人材育成
3. 学会等名 国際協力機構研究所ランチタイムセミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野口裕之・大隅敦子・熊谷龍一・島田めぐみ
2. 発表標題 CEFRの日本語への適用可能性 - 産出的言語活動および（言葉の）やりとりの場合 -
3. 学会等名 日本語教育学会 春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島田めぐみ・大隅敦子・熊谷龍一・董博・野口裕之
2. 発表標題 国外日本語教育機関における Can-do statements と CEFR能力記述文の間の項目困難度比較 - 受容技能を例に
3. 学会等名 日本語教育学会 春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤菜月
2. 発表標題 産業人材育成における非認知的能力 概念の整理へ向けた検討 (セッション「産業人材の技能形成と非認知能力」)
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 谷口京子
2. 発表標題 若者の認知的能力と職業的能力 エチオピア、ガーナ、南アフリカの労働者と学生の場合
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島津侑希
2. 発表標題 職業技術教育・訓練 (TVET) における非認知能力育成 エチオピアの公立TVET校での「他者と働く力」の育成
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島津侑希
2. 発表標題 エチオピアの職業技術教育・訓練(TVET)機関における実務訓練プログラム 工場で学生はなにを学ぶか？
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Natsuki Kondo
2. 発表標題 How Youth in Rural Ghana Became "Cadres"? - Life Story of Actors in Popular Movement Under 1980's Military Rule-
3. 学会等名 International Sociological Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口京子・島津侑希
2. 発表標題 「途上国の産業人材に求められる技能評価のためのアセスメントモジュールの開発」企画セッション『途上国の産業人材に求められる技能の実証研究 Skills and Knowledge for Youth (SKY) プロジェクトの成果報告 』
3. 学会等名 国際開発学会第30回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤菜月
2. 発表標題 「学習者中心主義的視点から考察する職業技術教育」企画セッション『途上国の産業人材に求められる技能の実証研究 Skills and Knowledge for Youth (SKY) プロジェクトの成果報告 』
3. 学会等名 国際開発学会第30回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Christian OTCHIA
2. 発表標題 「Skills and gender starting wage-gap in special economic zones: Evidence from Ethiopia」企画セッション『途上国の産業人材に求められる技能の実証研究 Skills and Knowledge for Youth (SKY) プロジェクトの成果報告 』
3. 学会等名 国際開発学会第30回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 「学習（認知的能力）の構成要素と労働市場での評価ーエチオピア国外資系縫製企業労働者の場合ー」企画セッション『途上国の産業人材に求められる技能の実証研究 Skills and Knowledge for Youth (SKY) プロジェクトの成果報告 』
3. 学会等名 国際開発学会第30回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 知識と技能を通してみるSchool-to-work transition - アフリカでの労働者の技能評価調査を事例に -
3. 学会等名 国際協力機構教育研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 アフリカの産業と教育の可能性を探る-SKYプロジェクトによる技能評価
3. 学会等名 オープンフォーラム「アフリカにおける持続可能な開発への科学技術による貢献 - 名古屋大学の挑戦」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamada, Shoko
2. 発表標題 Keynote speaker. “Spotlight on Skill Needs: Responding to the Demand in order to Bridge the Gaps”
3. 学会等名 2nd International TVET Conference : Making Skills Work for Economic Transformation, Ministry of Education, Federal Government of Ethiopia and GIZ (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamada, Shoko
2. 発表標題 How is the ‘authorized knowledge’ created through discourse? The case of Sustainable Development Goals
3. 学会等名 World Education Research Association 2019 Focul Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Bridging the supply-demand gaps of industrial workforce: Findings from skills assessment of garment workers in Ethiopia
3. 学会等名 Addis Ababa: Ethiopia Investment Commission (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田肖子
2. 発表標題 情報クラウド時代における知識生成 - 持続可能な開発目標 (SDGs) 形成過程の言説分析から -
3. 学会等名 教育社会学会第70回大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Shoko Yamada
2. 発表標題 Being educated or being schooled? The potential of African traditional notion of 'educated man' in the era of sustainable development and globalization
3. 学会等名 World Social Science Forum 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田肖子, クリスチャンS. オチア
2. 発表標題 企画セッション『産業人材の職業能力の総合的評価にむけて Skills and Knowledge for Youths (SKY) プロジェクトによるプレテスト分析』企画代表者及び発表者「非認知的能力が職能に及ぼす影響 - エチオピア縫製業労働者に見るカイゼン教育の効果」
3. 学会等名 国際開発学会第29回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuki Shimazu, Christian Otchia
2. 発表標題 Mathematics achievement and textbook contents: Evidence from Ethiopia
3. 学会等名 国際開発学会第29回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田肖子、島津侑希、辻本温史
2. 発表標題 日本の人づくり支援の源流と現在 - ODA における産業人材育成支援の変遷 -
3. 学会等名 日本比較教育学会第54回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 肖子
2. 発表標題 非認知的能力が職能に及ぼす影響 エチオピア縫製業労働者に見るカイゼン教育の効果
3. 学会等名 JICA研究所・国際開発学会共催セミナー「国際開発におけるカイゼン研究の到達点と今後の課題」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オチア クリスチャン サメン
2. 発表標題 Mechanisms and Impacts of Innovation on Firm Survival: Evidence from Sub-Saharan Africa
3. 学会等名 The 17th International Conference of the Japan Economic Policy Association
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オチア クリスチャン サメン
2. 発表標題 Forging ahead with an Afro-Asian Studies Initiative in Japan
3. 学会等名 Japan Society for Afrasian Studies
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オチア クリスチャン サメン
2. 発表標題 School-to-job transition, returns to education, and sorting into self-employment: Evidence from Urban Ghana
3. 学会等名 Faculty Training Seminar Guangzhou
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オチア クリスチャン サメン
2. 発表標題 China in 2025: Implications for Africa
3. 学会等名 International Conference on Economic Structures 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤菜月
2. 発表標題 途上国の行為主体について ガーナ北部農村部における民衆運動の担い手のライフストーリーから (セッション「社会思想・理論と紛争・運動・デモ」)
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤菜月・山田肖子
2. 発表標題 学習者中心主義的視点から考察する職業技術教育 (セッション「産業人材の職業能力の総合的評価にむけて Skills and Knowledge for Youths (SKY) プロジェクトによるプレテスト分析 」)
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安永和央、野口裕之
2. 発表標題 記述式問題における字数制限が回答に及ぼす影響 - 国語の大学入試問題を用いた実証研究 -
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口裕之
2. 発表標題 ラッシュ系モデルによる尺度構成-作文研究およびCEFR尺度の開発
3. 学会等名 作文研究2018
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野口裕之
2. 発表標題 CEFRの基礎
3. 学会等名 国際交流基金シドニー日本文化センター（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊集院郁子、李在鎬、小森和子、野口裕之
2. 発表標題 意見文に対する評価コメントの計量的分析 コレスポネンズ分析に基づく考察
3. 学会等名 2018年度日本語教育学会秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 櫻井千穂、真嶋潤子、中島和子、野口裕之
2. 発表標題 DLA<読む>の構成概念妥当性の検証 テキストレベルの順位性をめぐって
3. 学会等名 2018年度日本語教育学会春季大会
4. 発表年 2018年

## 〔図書〕 計33件

1. 著者名 山田肖子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 120
3. 書名 『持続可能性』言説分析	

1. 著者名 山田肖子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 462
3. 書名 「共感と共有を通じた知識形成 アフリカの伝統的口承文化から現代社会への認識論的示唆」松田素二、フランス・ニヤムンジョ、太田至編 『アフリカ潜在力が世界を変える：オルタナティブな地球社会のために』	

1. 著者名 Yamada, Shoko	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Langaa Publishing	5. 総ページ数 332
3. 書名 Knowledge Sharing: Epistemology Lessons for Modern Culture from Traditional African Oral Culture” in Motoji Matsuda, Itaru Ohta, and Francis Nyamnjoh (Eds). African Potentials: Bricolage, Incompleteness and Lifeness, pp. 157-181	

1. 著者名 Yamada, Shoko	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Rowman & Littlefield	5. 総ページ数 602
3. 書名 “Synchrony and Diachrony of Multiple Comparative Educations: Japanese Language Publications in a Global Academic Field (Chapter 10)” in Robert Arnove, Carlos Torres, and Lauren Misaszek (eds) “Comparative Education: Emergent Trends in the Dialectic of the Global and the Local (5th ed.), pp. 175-194	

1. 著者名 Yamada, Shoko, Atsushi Tsujimoto, and Yuki Shimazu	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 365
3. 書名 “Japan’s Governmental Assistance in TVET for Industrial Human Resource Development: Changing Patterns of JICA’s Project-Based Cooperation,” in Nobuko Kayashima, Kazuo Kuroda, and Yuto Kitamura (eds) Japan’s International Cooperation in Education: History and prospects, pp. 149-170.	

1. 著者名 Shimazu, Yuki, Atsushi Tsujimoto, and Shoko Yamada	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 365
3. 書名 “Private Sector-Led Cooperation in Industrial Human Resource Development: the Case of the Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships (AOTS),” in Nobuko Kayashima, Kazuo Kuroda, and Yuto Kitamura (eds) Japan’s International Cooperation in Education: History and prospects, pp. 171-196.	

1. 著者名 Yamada, S., Tsujimoto, A., and Shimazu, Y	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 22
3. 書名 Japan’s Governmental Assistance in TVET for Industrial Human Resource Development: Changing Patterns of JICA’s project-based cooperation (In Kayashima, N, Kurida, K. and Kitamura, Y. (eds.) Japan’s International Cooperation in Education: History and Prospects: Education in the Asia-Pacific Region: Issues, Concerns and Prospects, 63)	

1. 著者名 Shimazu, Y., Tsujimoto, A., and Yamada, S.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 23
3. 書名 Private Sector-Led Cooperation in Industrial Human Resource Development: The Case of the Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships (AOTS) (In Kayashima, N, Kurida, K. and Kitamura, Y. (eds.) Japan’s International Cooperation in Education: History and Prospects: Education in the Asia-Pacific Region: Issues, Concerns and Prospects, 63)	

1. 著者名 Shoko Yamada, Akira Takada, and Shose Kessi (Eds)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa publishing	5. 総ページ数 388
3. 書名 Knowledge, School, and Social Structure in Africa.	

1. 著者名 山田肖子・大野泉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 348
3. 書名 途上国の産業人材育成 - 持続可能な経済成長と貧困削減に向けて	

1. 著者名 Motoki Takahashi, Shuichi Oyama and Herijantovo Aim Ramiarison (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa publishing	5. 総ページ数 430
3. 書名 Development and Subsistence in Globalising Africa : Beyond the Dichotomy	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 115
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖	

1. 著者名 Shoko Yamada	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Langaa Publishing	5. 総ページ数 276
3. 書名 Traditional Apprenticeship as an Educational and Life Experience: Life Stories of Young Auto Repair Apprentices in Kumasi, Ghana (in Yaw Ofosu-Kusi and Motoji Matsuda (Eds), The Challenge of African Potentials: Conviviality, Informality and Futurity)	

1. 著者名 高橋基樹・松原加奈	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 28
3. 書名 途上国の製造現場における人材育成 ケニア、エチオピアの事例から(山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第11章)	

1. 著者名 Motoki Takahashi, Masumi Owa and Kazuyo Ideue	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa publishing	5. 総ページ数 34
3. 書名 Horizontal Development and Knowledge-Sharing in an Industrial Cluster: Open-Air, Informal Sofa Manufacturing in Nairobi, Kenya (in Development and Subsistence in Globalising Africa: Beyond the Dichotomy)	

1. 著者名 山田肖子・近藤菜月	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 20
3. 書名 知識基盤社会における「能力」 政策言説、実社会、学習論の変化から (山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第2章)	



1. 著者名 オチア, クリスチャン・近藤菜月	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 19
3. 書名 習者・労働者の視点から考えるキャリア形成 就学から就労への移行を促進支援するために何が重要か(山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第14章)	

1. 著者名 島津侑希・辻本温史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 18
3. 書名 日本の政府と民間による開発途上国の産業人材育成支援 JICAとAOTSの産業人材育成支援事業の歴史的変遷 (山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第5章)	

1. 著者名 谷口京子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 16
3. 書名 社会で活躍できる労働者に求められる技能 - 「認知能力」と「職業的能力」(山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第12章)	

1. 著者名 島津侑希	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 19
3. 書名 労働市場と公立TVETにおける需給ギャップ 南アフリカとエチオピアの服飾産業 の比較 (山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第10章)	

1. 著者名 オチア, クリスチャン・山田肖子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 16
3. 書名 技能に関する関係者間の期待と認識の多重ギャップ エチオピア縫製業の雇用者、訓練者、労働者、学生の比較から(山田肖子・大野泉編『途上国の産業人材育成』第13章)	

1. 著者名 山田 肖子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 120
3. 書名 知識論	

1. 著者名 山田肖子、辻本温史、島津侑希	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版	5. 総ページ数 29
3. 書名 第6章「技術教育・職業訓練(TVET)に関わる国内外の政策環境の変遷とJICAの協力」萱島信子・黒田一雄編『日本の国際教育協力史』	

1. 著者名 島津侑希、山田肖子、辻本温史	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版	5. 総ページ数 17
3. 書名 第7章「官民連携による民間の産業人材育成 - もうひとつの人づくり協力」萱島信子・黒田一雄編『日本の国際教育協力史』	

1. 著者名 Yamada, Shoko	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 25
3. 書名 “Historical Development of Education in Africa and Research about It,” George W. Noblit (ed). Oxford Research Encyclopedia of Education	

1. 著者名 山田肖子、廣瀬桂子、廣瀬信明、乾美紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 176
3. 書名 世界はきっと変えられる：アフリカ人留学生が語るライフストーリー	

1. 著者名 Shoko Yamada	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Langaa Publishing	5. 総ページ数 312
3. 書名 Dignity of Labour for African Leaders: The Formation of Education Policy in the British Colonial Office and Achimota School on the Gold Coast	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第1回 「そのグラフ大丈夫ですか」ウェブマガジン「未草」	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第2回 「有意差の意味を理解して、正しい記述を！」ウェブマガジン「未草」	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第3回 「統計記号や参照マークも正確に」ウェブマガジン「未草」	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第4回 「t検定にまつわるDon'ts」ウェブマガジン「未草」	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第5回 「カイ二乗検定と相関係数の検定（無相関検定）にまつわるDon'ts」ウェブマガジン「未草」	

1. 著者名 島田めぐみ・野口裕之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 10
3. 書名 統計で転ばぬ先の杖 - 第6回 「分散分析にまつわるDon'ts」ウェブマガジン「未草」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Skills and Knowledge for Youths project website <a href="https://skills-for-development.com/">https://skills-for-development.com/</a>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高橋 基樹 (Takahashi Motoki) (30273808)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授  (14301)	
研究分担者	野口 裕之 (Noguchi Hiroyuki) (60114815)	名古屋大学・教育発達科学研究科・名誉教授  (13901)	
研究分担者	近藤 菜月 (Kondo Natsuki) (60827179)	名古屋大学・国際開発研究科・特任助教  (13901)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内海 悠二 (Utsumi Yuji) (70824001)	名古屋大学・国際開発研究科・准教授  (13901)	
研究分担者	島津 侑希 (Shimazu Yuki) (80783224)	愛知淑徳大学・交流文化学部・講師  (33921)	
研究分担者	O t c h i a C h r i s t i a n (Otchia Christian) (90761198)	名古屋大学・国際開発研究科・准教授  (13901)	
研究分担者	谷口 京子 (Taniguchi Kyoko) (10773012)	広島大学・人間社会科学研究科(国)・准教授  (15401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関